



宇都宮大学のチャレンジ

～地域と大学の支え合い～



本学の風景-フランス式庭園

宇都宮大学では、本学の理念である「地域に学び、地域に返す、地域と大学との支え合い」を基本に、「知(地)の拠点」として地域連携を積極的に推進し、地域社会に貢献することを中期目標の一つに掲げ、現在も大学改革の名の下に、様々な取組を進めています。

そこで、現在、本学が進めている取組の中から、地域と協働による、まちづくり(ひとづくりも含む)等に焦点を当てた話題提供とパネルディスカッションを行い、各方面からの本学に対する期待やこれからの取組についての御意見や御提言をいただき、今後の本学における教育プログラムや地域貢献策の改善に役立てて参ります。



ーフォーラム等の様子ー

日時 平成27年12月12日(土) 14:00～17:00
(13:30～受付)

場所 栃木県教育会館 大ホール

プログラム (※ 新学部所属予定者は、平成28年4月見込みのもの)

1. 開会行事(14:00～14:15) 挨拶 学長 石田 朋靖
2. 話題提供～地域と大学の支え合い～(14:15～15:15)

【発表者】

- ①「地域資源を活かした風景と居場所のデザイン」
宇都宮大学地域デザイン科学部 安森 亮雄
- ②「地域に根ざした教育活動～烏山高校まちづくり研究会～」
栃木県立烏山高等学校教諭 藤井 啓太(地域連携)、同校生徒

【コメンテーター】

宇都宮大学地域デザイン科学部 大森 玲子(地域食育)
同学部 近藤 伸也(防災マネジメント)

【コーディネーター】

宇都宮大学地域デザイン科学部 石井 大一郎

3. パネルディスカッション(15:30～16:50)
「地域と大学の支え合い」

- ①「地域デザイン科学部の挑戦」
宇都宮大学地域デザイン科学部長 塚本 純
- ②「宇都宮大学の挑戦」
宇都宮大学理事・副学長 茅野 甚治郎

【パネリスト】

下野新聞社論説委員：早川 茂樹氏
栃木県経済同友会専務理事：五家 真佐江氏
栃木県総合政策部総合政策課政策企画監：阿久澤 真理氏
栃木県連合教育会長：新沼 隆三氏

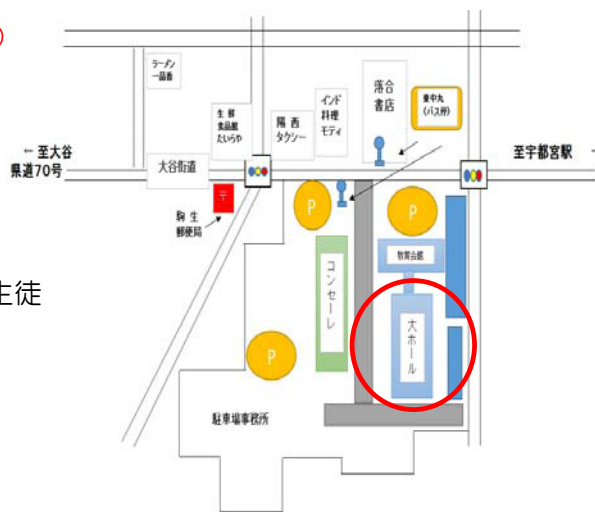
【コーディネーター】

宇都宮大学地域連携教育研究センター准教授：大森 豊

4. 閉会行事(16:50～17:00)

5. 参加対象

県内各市町行政担当者、高等学校の教員・生徒、本学教職員・学生、一般県・市民等



【バスでお越しの方】

・JR宇都宮駅からお越しの方(約20分)
宇都宮駅西口→関東バス「作新学院・駒生行き」

・東武宇都宮駅からお越しの方(約20分)
東武宇都宮駅前バス停→「作新学院駒生行き」

※下車バス停はともに「東中丸(会館前)」



◇ 話題提供～地域と大学の支え合い（14:15～15:15）

1. 「地域資源を活かした風景と居場所のデザイン」（14:15～14:30）
新学部で建築都市デザイン学科の安森亮雄准教授から大学と地域の協働によるまちづくり・建築設計の取り組みについて、釜川の活用による中心市街地活性化、大谷石蔵の町並み、大学キャンパスの再生の事例についてご発表いただきます。
2. 「地域に根ざした教育活動～烏山高校まちづくり研究会～」（14:30～14:45）
県立烏山高等学校は、栃木県教育委員会の「未来創造推進事業」の認定を受け、特色ある学校づくりを進めています。今回は、『那須烏山市まちづくり研究会』の一員として、大学や行政、各団体と連携しながら、那須烏山市の活性化に向け活動している様子についてご発表いただきます。

§ 講評・提言（14:45～15:00）／質疑・応答（15:00～15:15）

2つの発表後、新学部コミュニティデザイン学科の大森玲子教授（予定）並びに社会基盤デザイン学科の近藤伸也准教授から、2つの発表についての感想と、大学と地域の連携・協働によるまちづくりの重要性について、ご専門の立場から熱く語っていただきます。その後、同学部地域デザインセンター（設置予定）の石井大一郎准教授がコーディネーターを務め、会場からの質疑をいただきます。

～休憩（15分間）～

◇ パネルディスカッション（15:30～16:50）

1. 「地域デザイン科学部の挑戦」（15:30～15:45）
来年4月に初代学部長就任予定の塚本純教授が、宇都宮大学が考える“地域デザイン”の考えを踏まえて、新学部の特徴について、教育面の特色、養成する人材像やそのためのカリキュラム、実施の体制などを説明します。
2. 「宇都宮大学の挑戦」（15:45～16:00）
宇都宮大学が地域の持続的な発展を支える大学として貢献し続けるために掲げた戦略構想を茅野甚治郎理事・副学長が分かりやすく説明します。

§ 公開討論（16:00～16:50）

上記の発表等を受けて、下野新聞社論説委員早川茂樹氏、栃木県経済同友会専務理事五家真佐江氏、栃木県総合政策部総合政策課政策企画監阿久澤真理氏、栃木県連合教育会長新沼隆三氏の各パネリストから、宇都宮大学に対する期待や取組策への意見や提言をいただき、新たな教育プログラムや地域貢献策の改善に役立てて参ります。コーディネーターは、宇都宮大学地域連携教育研究センターの大森豊准教授が務めます。

宇都宮大学のチャレンジ～地域と大学の支え合い～

FAXにて申し込む方は、下記に記入して028-649-5334へ送信してください。

参加者氏名	ふりがな	所属	
連絡先電話番号		メールにて申し込まれる際は、参加者氏名、ふりがな、所属、連絡先を記入のうえ、下記のメールアドレスへお送りください。 ※いただいた個人情報は、本目的以外に使用いたしません。	

※携帯、スマホにて申し込まれる際は、下記のQRコードをリーダーで読み取るとメールアドレスが表示されます。



【問合せ先】

宇都宮大学教職センター（瓦井、野澤、佐藤）

Mail kyosyoku@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp（代表）

TEL 028-649-5272

FAX 028-649-5334